

# ソフトマックス株式会社



## 成長可能性に関する説明資料

---

急成長する医療情報システム市場で飛躍する企業へ



ソフトマックス株式会社

証券コード : 3671

2013年3月12日

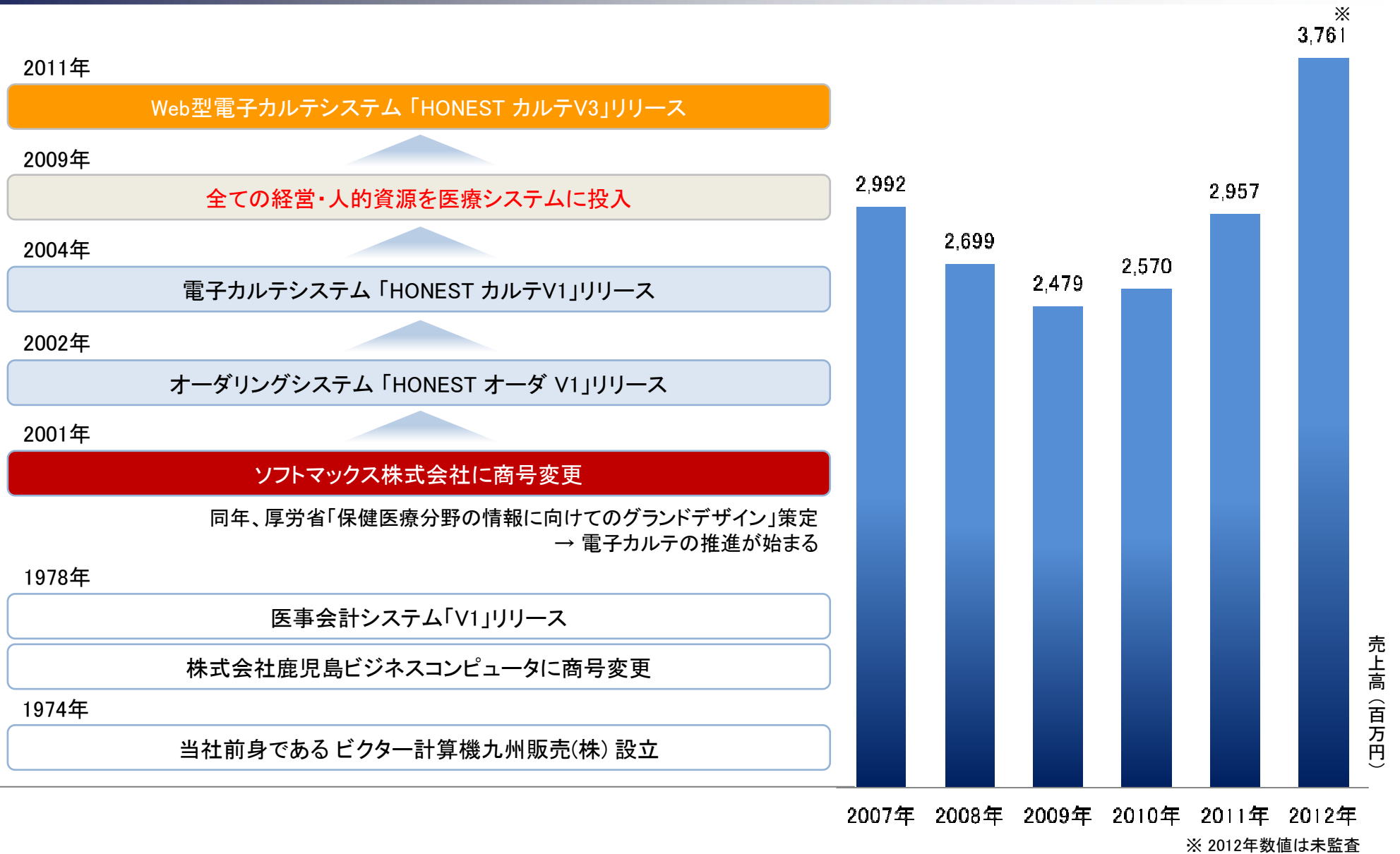
# 1. 会社概要



## 会社概要

本社	東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 MATSUMOTOビル
本店	鹿児島県鹿児島市加治屋町12-11
代表者	代表取締役会長 野村 俊郎 / 代表取締役社長 永里 義夫
設立	1974年1月
事業内容	総合医療情報システム開発・販売・導入指導・保守
資本金	2億円(2012年12月31日現在)
従業員数	156名(2012年12月31日現在)





2011年

Web型電子カルテシステム「HONEST カルテV3」リリース

2009年

全ての経営・人的資源を医療システムに投入

2004年

電子カルテシステム「HONEST カルテV1」リリース

2002年

オーダーリングシステム「HONEST オーダ V1」リリース

2001年

ソフトマックス株式会社に商号変更

同年、厚労省「保健医療分野の情報に向けてのグランドデザイン」策定  
→ 電子カルテの推進が始まる

1978年

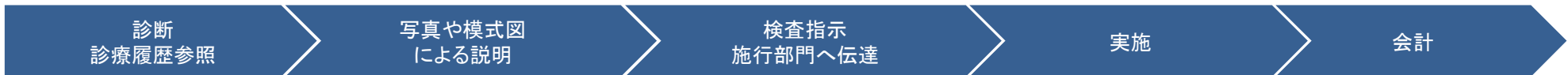
医事会計システム「V1」リリース

株式会社鹿児島ビジネスコンピュータに商号変更

1974年

当社前身である ビクター計算機九州販売(株) 設立

## 診断から検査、処方、会計までの流れ

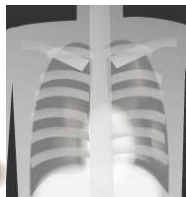
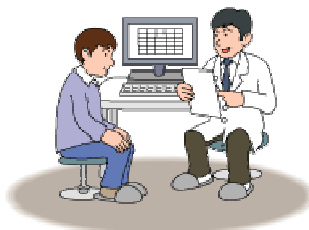


### 診療支援

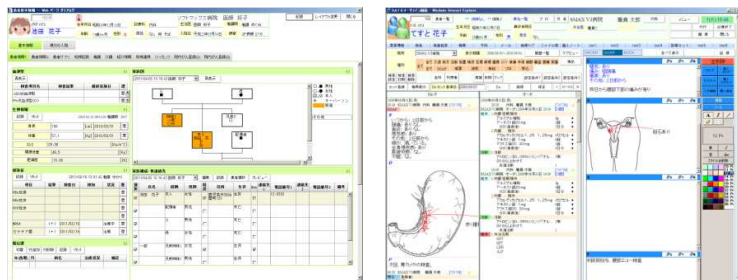
### 部門支援

### 医療事務

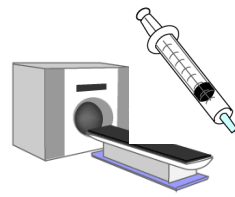
#### 電子カルテシステム



- ・患者基本情報
- ・所見入力
- ・インフォームドコンセント



#### オーダーリングシステム



- ・処方
- ・注射
- ・処置
- ・検査



#### 部門支援システム



- ・オーダー受け
- ・実施
- ・実施入力

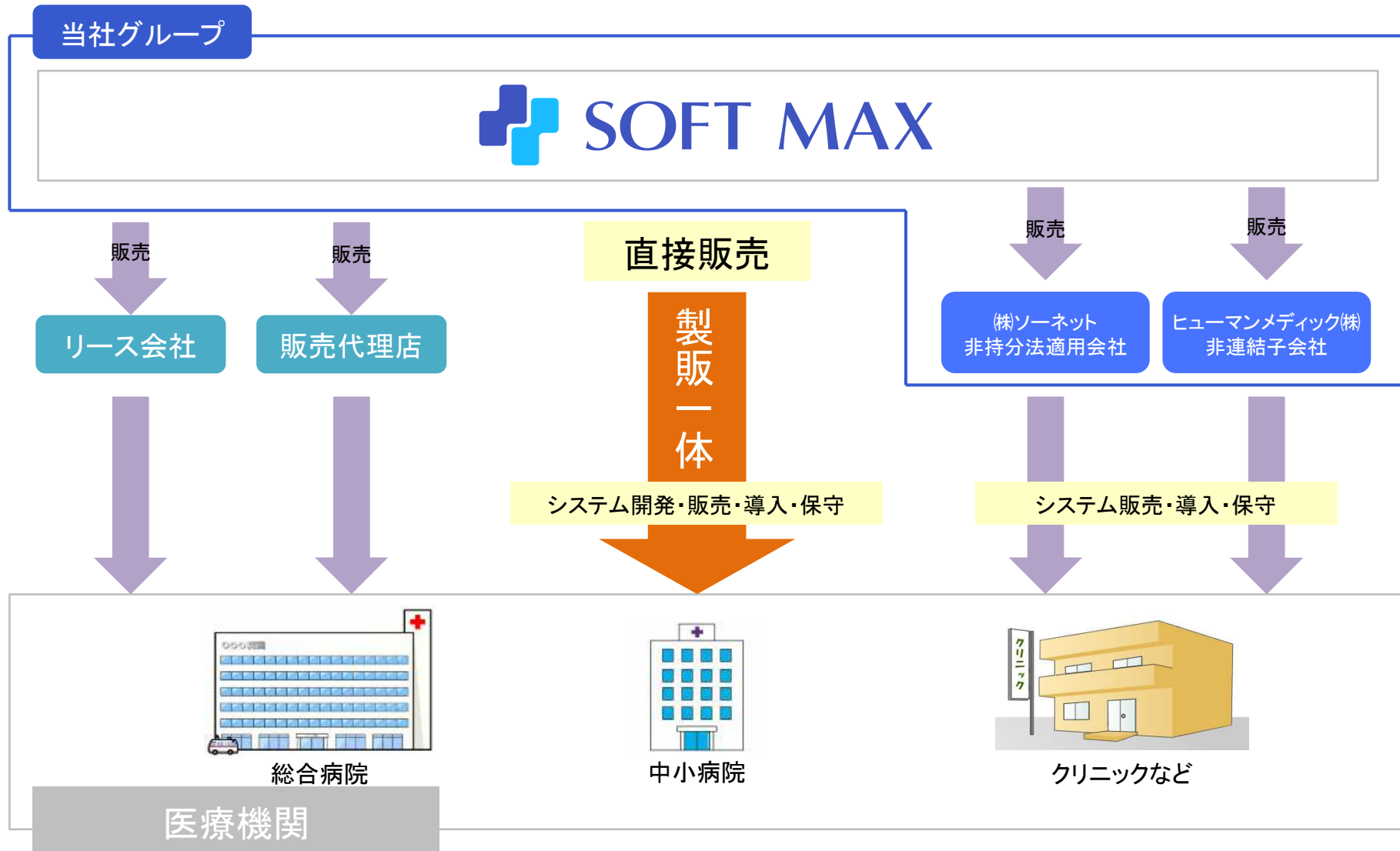


#### 医事会計システム



- ・オーダー受信
- ・算定
- ・会計処理
- ・レセプト電算処理





## 診療支援

電子カルテシステム、オーダーリングシステム

### 製品の概要

#### Web型電子カルテシステム

院内限定だけでなく、複数施設間をネットワークを介して運用するクラウド型も提供。

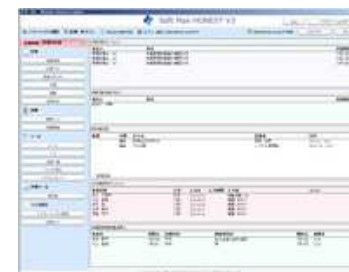
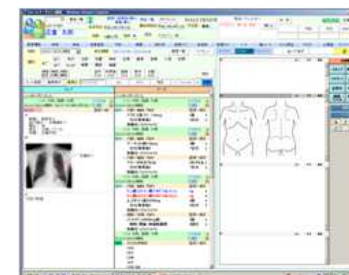
#### Web型オーダーリングシステム

医師の指示をリアルタイムに施行部門へ伝達。レセプト電算化にも標準対応。

#### スマートケアネットワーク

電子カルテのほぼ全ての機能が、スマートデバイスから使用可能。

### 製品画面



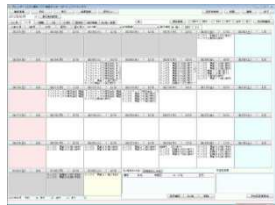


### 「電子カルテ・オーダーリング」の導入メリット

- 診療情報や検査、投薬などの**データ共有**により、患者を一元管理
- **画像の検索**も可能となり、業務効率が向上
- **ペーパーレス化、フィルムレス化**となり関連コストを削減
- **写真や模式図**を利用したわかりやすい説明が可能
- 重複投与防止や手書きによる転記ミス、請求漏れが減少
- 受付や会計での待ち時間を短縮



## 部門支援

主な製品「健診システム」「リハビリ部門システム」「手術部門システム」

<p><b>健診</b> 「HONEST 健診」</p>	<p>スムーズで待ち時間の少ない健診運用が実現。ユーザーがExcelベースで作成した所定書式に健診結果を抽出することが可能。特定健診・特定保険指導へも対応。</p>	
<p><b>リハビリ部門</b> 「HONEST リハ」</p>	<p>電子カルテ・オーダーリング・医事会計システムと連携。療法士の管理業務・受付から実施業務までの省力化を実現。</p>	
<p><b>手術部門</b> 「HONEST 手術」</p>	<p>手術部門システムは、電子カルテ・オーダーリング・医事会計システムと連携。手術予約の管理業務、術式・使用材料等の記録業務の省力化を実現。</p>	

その他の製品一覧

放射線科情報

病院物品管理

看護勤務管理

## 導入支援

・ネットワーク ・グループウェア ・データウェアハウス





## 医療事務

### 製品の概要

#### 医事会計システム

診療報酬の算定と請求、入金処理するシステム。  
オーダリング・電子カルテとの連携を図った診療支援指向型システム。

- ① 患者情報を預かる窓口業務
- ② 診療報酬点数の自動計算や患者負担額の計算等
- ③ 診療報酬請求書(レセプト)の作成支援オンライン請求

製品画面



### 「医事会計システム」の導入メリット

- 最大限の入力簡素化
- データの一元化管理により、各種データの引き出しが可能
- 自動精算機との連携により、会計業務の負担を大幅に削減
- 厚労省等の標準マスタ採用により、医療制度や薬価制度の改定に即時対応
- レセプト電算処理システムにより、業務負担大幅に軽減



## 2.事業環境と成長戦略



## 1. 主戦場である電子カルテ市場における急成長

- 電子カルテ市場は前年対比+21.2%で成長
- 医療費抑制を目指す行政による医療IT化が進行

## 2. 顧客ニーズへの対応力と低コストを実現した独自のシステム

- クライアント毎に異なるニーズに対応可能
- 迅速かつ低コストのカスタマイズを可能とするフレームワークとパーツ化
- 当社の従来の作業工程期間と比較して2カ月程度の納期短縮を実現

## 3. プライベートクラウドを利用した相互のネットワークシステム

## 4. 40年間で培った医療機関からの信頼感、豊富な顧客基盤

- 九州地方を中心とした70以上への病院へ導入
- 信頼を元にした導入施設へのリプレース需要の取り込み
- アフターサービスの充実による保守需要の取り込み



## 1-1. 主戦場である電子カルテ市場の急成長

政府が推進する医療情報化に関する政策

厚生省「保健医療分野の情報に向けてのグランドデザイン」策定。電子カルテの推進が始まる  
(2001年)

出所: 厚生労働省、首相官邸

### 医療情報化に関するタスクフォース (2012年5月)

- 医療情報の2次利用を可能とし、検査の重複をなくすなど医療を効率化
- 「どこでもMY病院(P.12)」構想により、かかりつけ医と専門病院の役割の明確化、及び連携強化により、医療資源の効率的な活用を促進

### 医療イノベーション5カ年戦略(2012年6月)

- IT活用による医療サービスの高度化支援

### 日本再生戦略(2012年7月)

- クラウドによる地域医療連携(P.13)等の安全と経営、機能評価の向上に不可欠な総合医療情報システムを提供しやすい環境へ

＋ 財政再建のため 医療費抑制が急務 → → → 医療の効率化、コスト削減のためのIT化が必須  
医療情報システムの導入ニーズが拡大



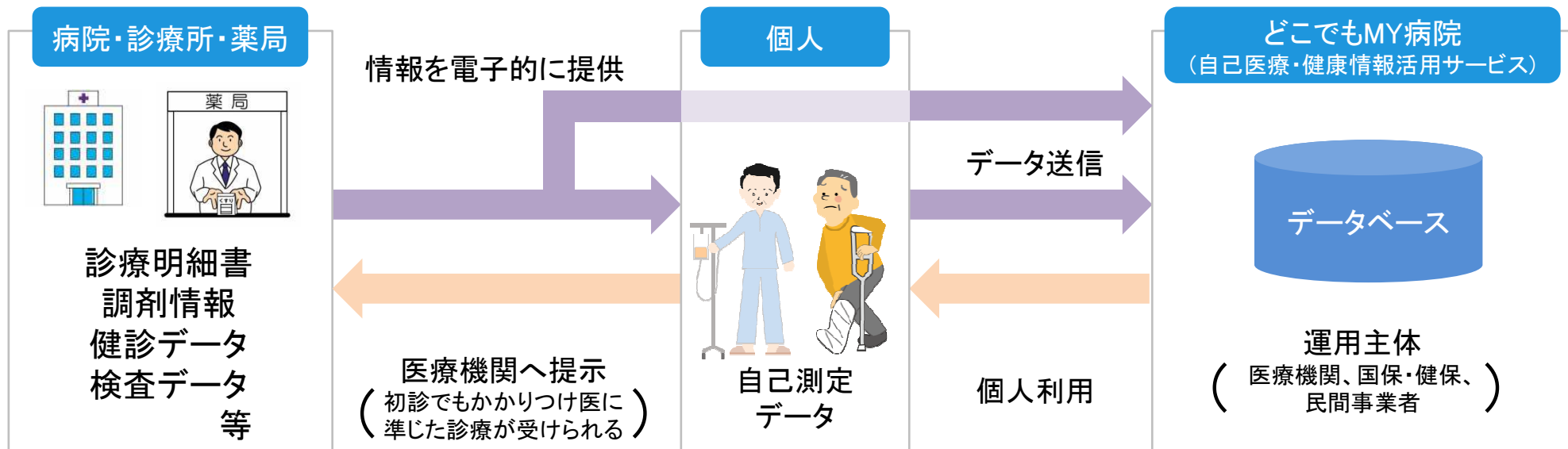
## 1-2. 主戦場である電子カルテ市場の急成長

### どこでもMY病院構想

2012年「医療情報化に関するタスクフォース」にて提唱され、  
2013年の電子版「お薬手帳」を皮切りに、「どこでもMY病院」のサービス提供開始予定

#### 基本概念

個人が自らの医療・健康情報を医療機関等から受け取り、**自らが電子的な管理・活用を実現する**



## 1-3. 主戦場である電子カルテ市場の急成長

### 地域医療連携

厚生労働省が推進する「医療機関の機能分化と連携の促進」において、システムを通じた**相互のネットワーク化**が求められる。

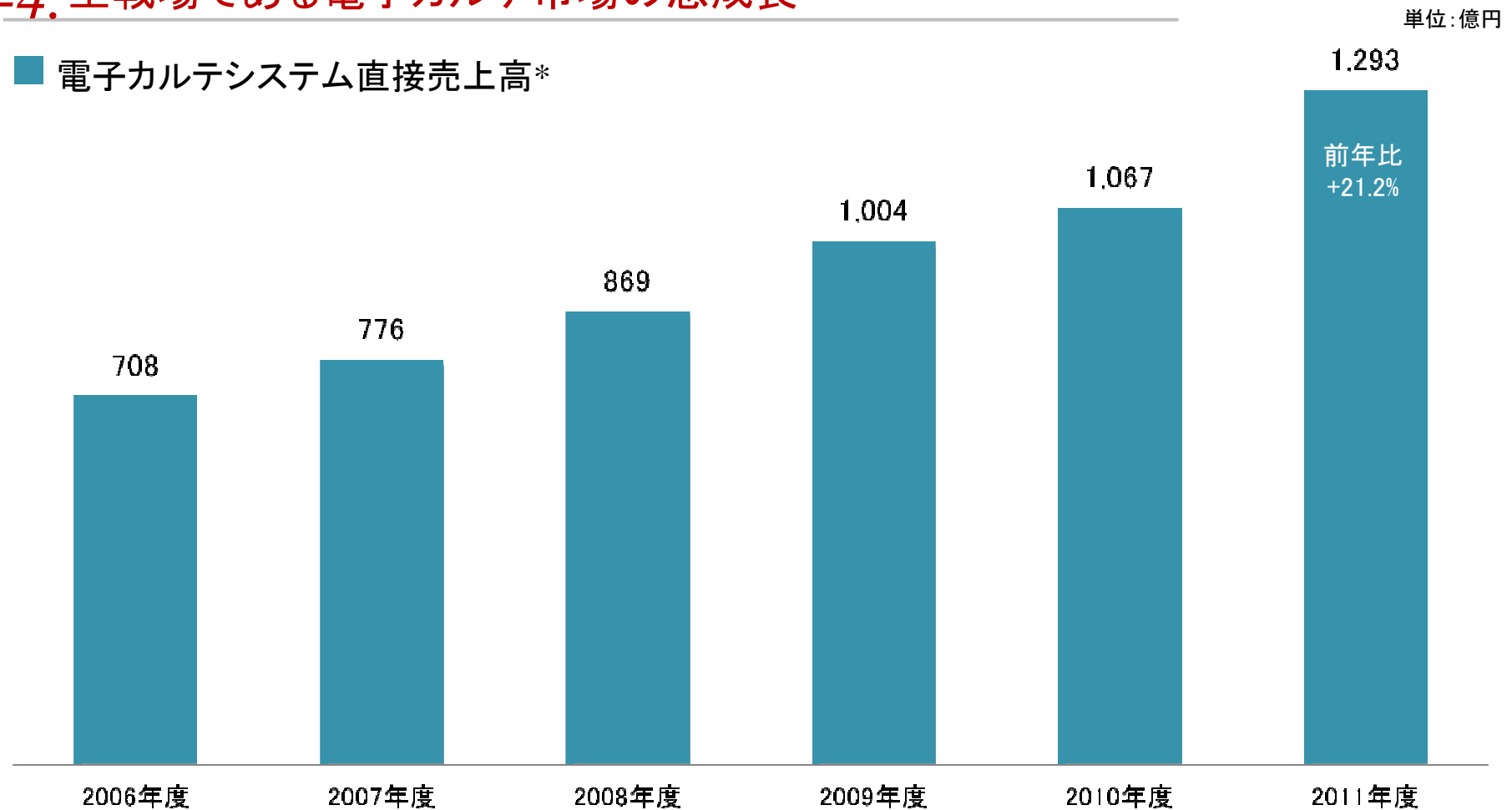


出所: 厚生労働省



## 1-4. 主戦場である電子カルテ市場の急成長

■ 電子カルテシステム直接売上高\*



\* 直接売上高とはエンドユーザーに販売した売上高

出所: 保健医療福祉情報システム工業会より作成



## 1-5. 主戦場である電子カルテ市場の急成長

電子カルテシステム導入状況(病床規模別)

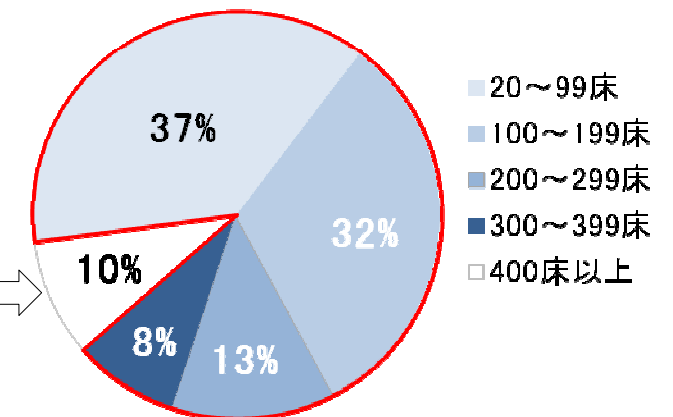
病床規模	電子カルテ※ <sup>1</sup> 導入施設	構成比	※ <sup>2</sup> 施設数	導入率
20～99床	198	13.6%	3,232	6.1%
100～199床	352	24.3%	2,758	12.8%
200～299床	221	15.2%	1,124	19.7%
300～399床	235	16.2%	729	32.2%
小計	1,006	69.3%	7,843	12.8%
400床以上	445	30.7%	827	53.8%
全体	1,451	100.0%	8,670	16.7%

注1) 月刊新医療・保健医療福祉情報システム工業会より作成(2012年4月1日時点)

注2) 厚生労働省医療施設動態調査より作成(2010年10月1日時点)

**当社のターゲット**  
電子カルテ未導入  
約7,000施設  
(全体の約8割)

病床規模別の病院施設数の割合

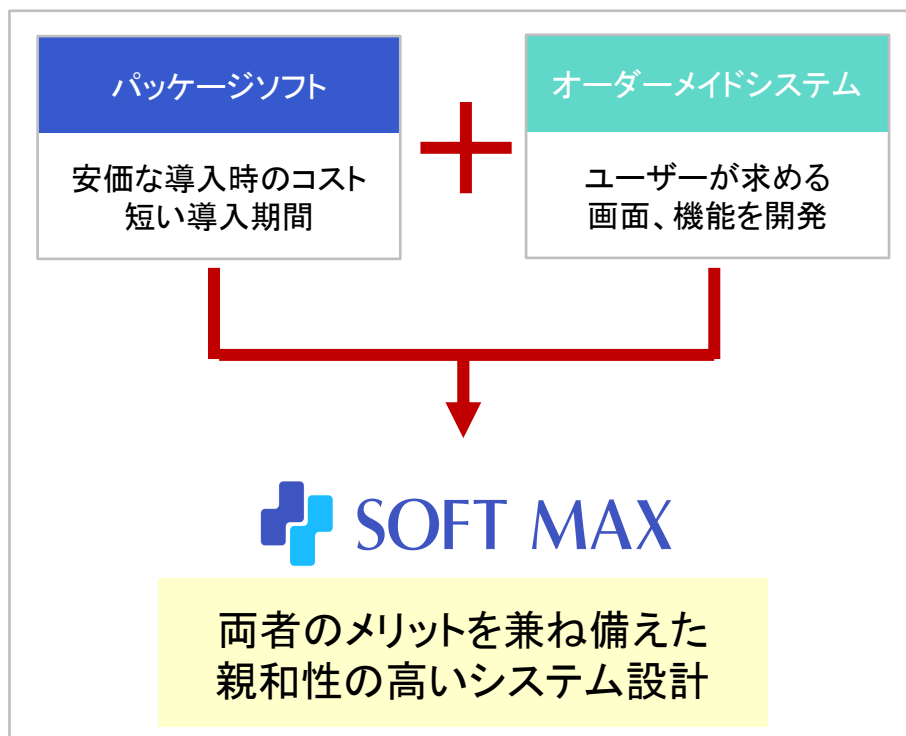




## 2-1. 顧客ニーズへの対応: 低コストを実現した独自のシステム

- ◆ 個々のユーザー毎に異なるニーズに対応可能
- ◆ 迅速かつ低コストのカスタマイズを可能とする開発体制
- ◆ 当社従来比、2カ月程度の納期短縮を実現

ユーザー毎に画面と情報パーツを自由にレイアウト



利用者ごとに、  
パーツの配置換えが可能

各種情報管理パーツ

ドラッグ&ドロップにより  
管理情報を追加可能。

## 2-2. 顧客ニーズへの対応:画面のレイアウトは自由自在

- ◆ 画面に表示させる情報、新規機能の開発にかかる稼働確認テストの期間を大幅に圧縮
- ◆ 保守費用内での多様なカスタマイズも実現可能
- ◆ 出力帳票のレイアウトはExcelで簡単設定

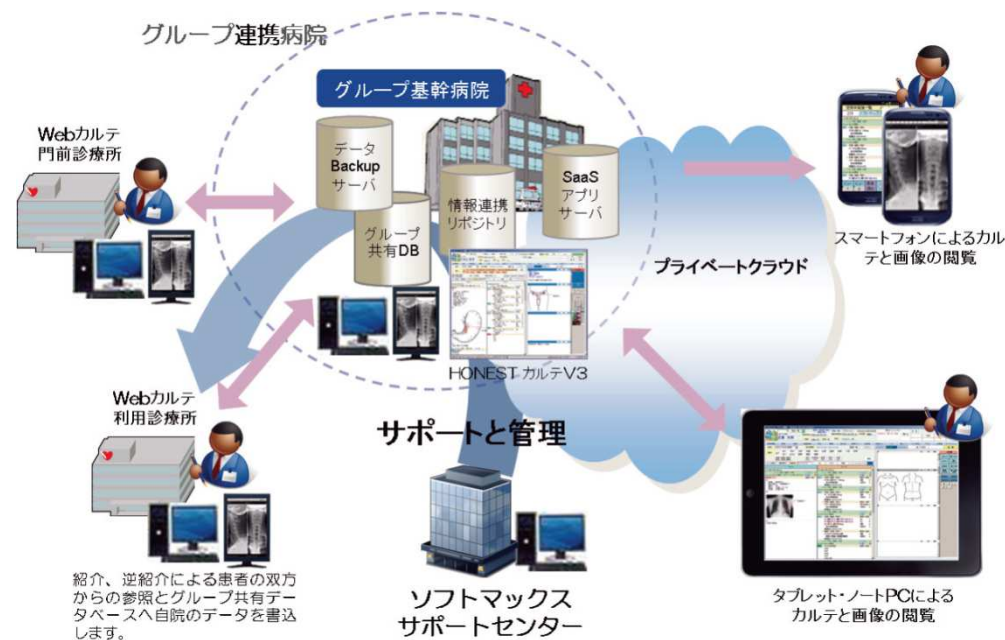
中小病院と大病院の業務比較

	中小病院	大病院
医師・看護師の業務内容	煩雑	標準化
業務フロー	多様	標準化
効率化余地	高	中



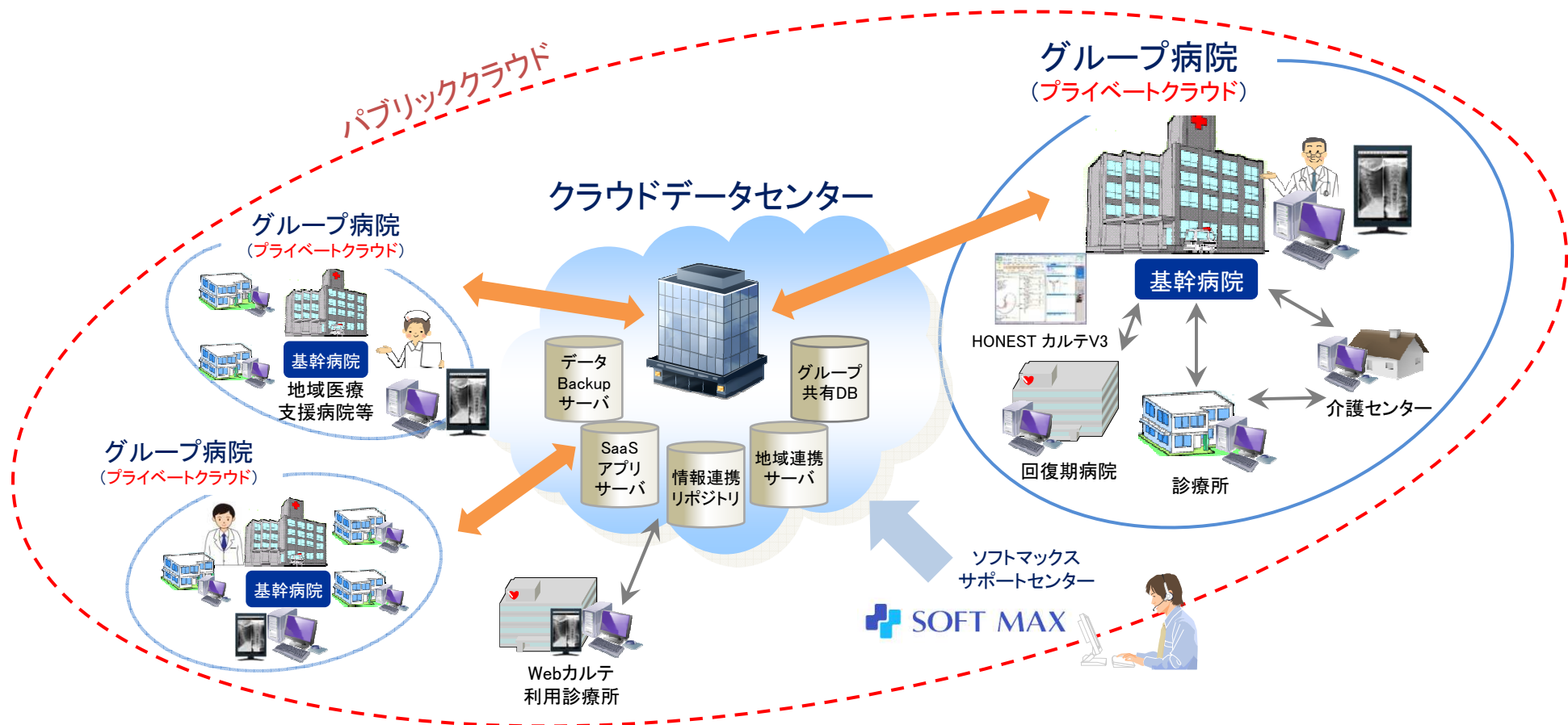
## 3-1. プライベートクラウドを利用した相互のネットワークシステム

- ◆ ネットワーク化された病院や診療所はリアルタイムで情報を共有
- ◆ パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット等で運用可
- ◆ 端末にデータを保持しないため、セキュリティに優れる
- ◆ データセンターにおけるバックアップの提供



## 3-2. プライベートクラウドを利用した相互のネットワークシステム

- ◆ 端末にプログラムやデータを保持しないため、セキュリティに優れる
- ◆ データセンターにおけるバックアップサービス、クラウドサービスの提供



## 4. 40年間で培った医療機関からの信頼感、豊富な顧客基盤

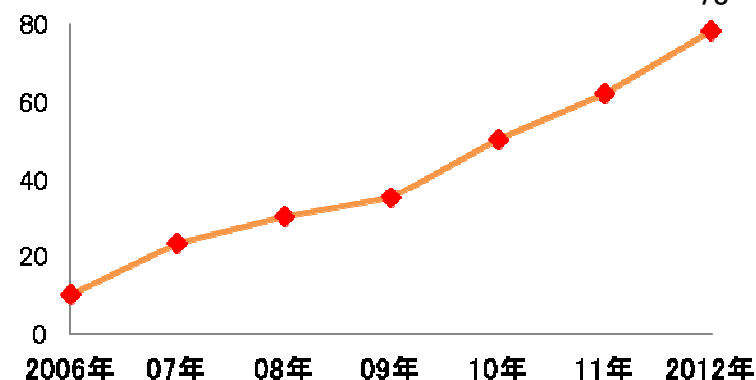
- ◆ 当社のユーザーは、460を超える病院
- ◆ 電子カルテシステムは、その内の78病院に導入
- ◆ オータ導入施設のリプレース需要の取り込み
- ◆ アフターサービスの充実→保守需要の取り込み



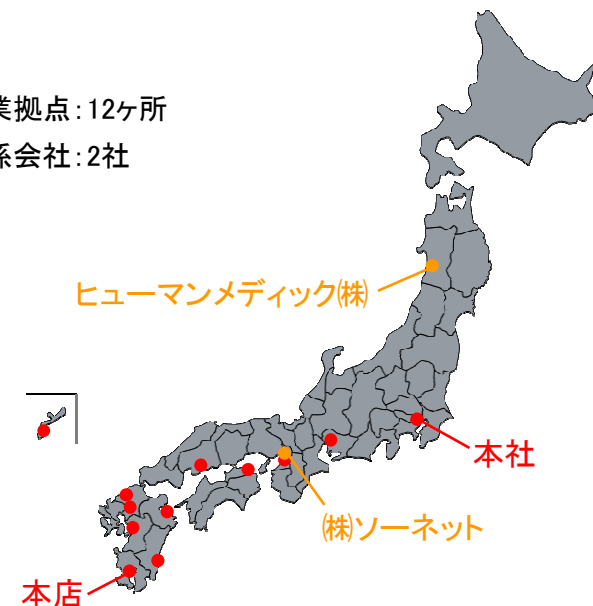
### 当社の取り組み

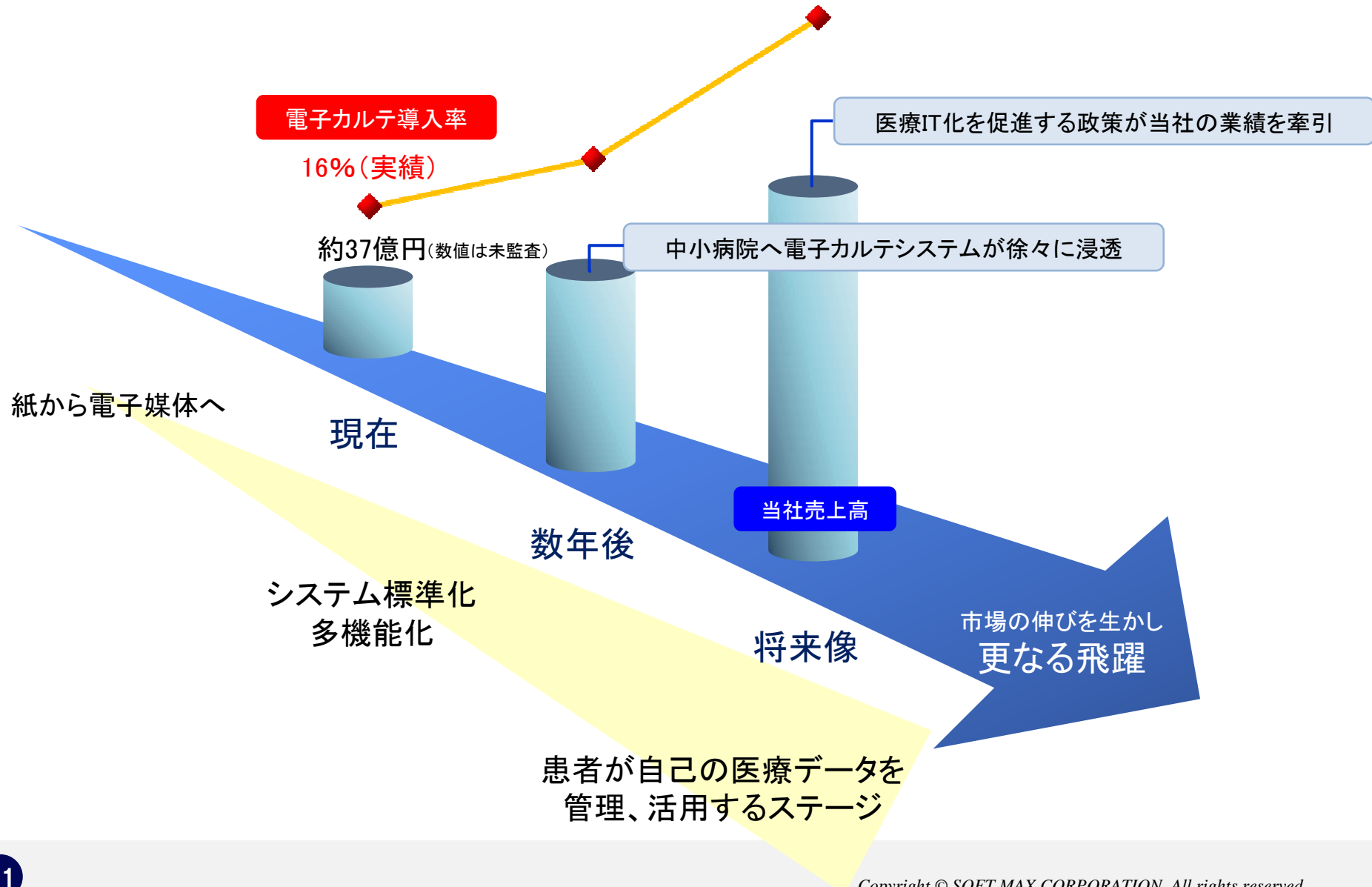
- ・ 東京、東北、北海道における**営業人員体制の強化**
- ・ 関連会社が持つ販売チャネルを活用し、**営業エリアを全国拡大**
- ・ 代理店の開拓、及び**アライアンスの強化**により、販売体制を拡充
- ・ サービス体制の**強化・拡充**
- ・ プロパー社員を中心とする**開発部隊を九州に設置**
- ・ IPOにより社会的認知度を高め、更なる**人員増加**を計画

電子カルテシステムの累積導入数(稼働中のみ)



- 営業拠点: 12ヶ所
- 関係会社: 2社







- [連絡先] ソフトマックス株式会社
- [本社] 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 MATSUMOTOビル  
03-5651-7110(東京)
- [本店] 鹿児島県鹿児島市加治屋町12-11  
099-226-1222(鹿児島)

